



箕輪進修高校 進路指導室

2013. 1. 17

3, 4年生用 No.75

日本企業復活への願い



昨年末自民党が再び政権をとったことを契機に、円安株高が始まり新年早々から日本の景気の回復が期待されるようになってきました。まだ本格的回復局面にスムーズに移行するとは思いませんが、少なくとも今後の景気回復に明るい兆しが差してきたことは歓迎されることでしょう。

ただし**期待と現実にはまだ大きな隔たりがあり日本の企業の実態は決して良いものではありません**。特に電気関係はソニー、パナソニック、シャープ等軒並み大幅な赤字を抱え、事業の縮小化が図られています。つい数年前「世界の亀山モデル」として一世を風靡したシャープの液晶は大幅な赤字を抱え、昨年3月には台湾の会社に大幅な出資を求め救済を受けることになりました。かつて画期的商品を次々に生み出し世界中から絶大な支持を受けていたソニーも、今ではかつての隆盛を垣間見る隙もありません。現在はソニーに代わってアップルが革新的商品を次々に発売し世界中を虜にしています。また韓国のサムスンも日本の企業を尻目に世界中で圧倒的強さを誇りスマホではアップルと世界の市場を二分する状況にあります。

日本の社会全体に元気がなくなり、**世間をあっと言わせるような革新的アイデアを盛り込んだ製品が日本から出なくなっています**。若者にはハングリー精神もなくなり、自ら考えようとするものが少なくなっている様にも感じられます。

しかし**日本の企業は決して悲観するほど落ちぶれているわけではありません。自動車産業をはじめとして精密機械分野や各種部品や素材分野においてはまだまだ世界を圧倒する技術力を持った企業が少なくありません**。アップルの製品も日本製の部品が多く使われているといわれています。つまり日本の技術力に基づき部品がなければ作れないのです。韓国のサムスンがいかに世界を圧倒しているとはいえ日本製の優れた部品を使わなくては出来ないものが少なくないのです。航空機分野も日本のメーカーが胴体や主翼の一部を製造しています。

日本の物作り企業のシェアが低下しているのは事実ですが、それは完成品メーカーの話であり工業製品の中身の**部品や素材分野では依然として高い世界シェアを保っている企業**が少なくありません。こうした技術力を生かし、これまでのように**日本の技術力を過信することなく、環境や時代の変化に柔軟に対応できる体制作りをしていくなればまだまだ日本の企業の復活は十分あり得る**はずです。高い技術力を持ちながら日本企業がこれほどまでに落ち込んでしまった原因は、技術にこだわり過ぎ技術へのおごりと過去の成功体験に安住していた、企業戦略が間違っていたからです。

この国を変えていくのは一握りの人ではなく、私たち一人一人の意識とそれぞれがそれぞれの立場の中で前向きに取り組んでいくことが大切でしょう。そして常に新しいものを作り出す様心がけることでしょう。もちろん誰でもが革新的なものを作り出せるわけではありませんが、それぞれの関わる中で小さな工夫でも常に心がければ全体として大きな変化に繋がるでしょう。

これからの時代は極めて変化が激しい時代です。かつてのような終身雇用で一つの会社に一生勤める時代ではなくなっています。会社で思い切り力を発揮することは大切ですが、**一つのことだけにしがみつくとではなく、自ら常に勉強をし、時代を読み自らの真の幸せのためにはどうしたらよいかを一人一人が考えなくてはならない時代**でしょう。どこかに頼るのではなく自ら自らの幸せを主体的に考え決めていかなくてはならない時代です。多くの人々がそうした意識を持てば日本もやがて確実に復活してくるでしょう。生物学的にも**優れたものが生き残るのではなく環境に柔軟に対応できたものだけが生き残れる**ことを再度一人一人がかみ締めたいたいものです。